

浄土宗西山禅林寺派

潮音寺だより

<http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/> ナモの寺 検索
〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬一丁 10-11

第330号
平成23年4月

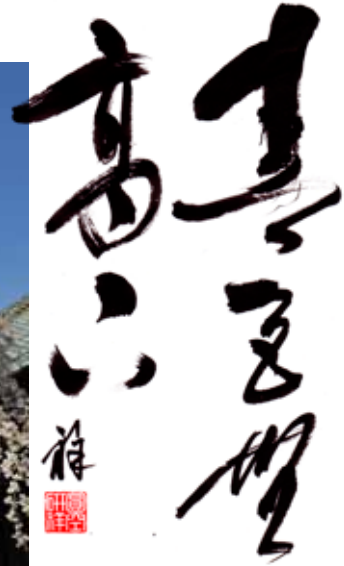
電話 052-671-4831

ファックス 052-671-4856

choonji@aichi.email.ne.jp



【出典】『園情佛果禪師語録』
春色無高下 花枝自短長



稲武町瑞龍寺 撮影：超空正道

さあ
春を探しに
外に出てみよう
早咲き遅咲き
大振り小振り
違いはあれど
満天下の春
宇宙に満ちる
万物を育む
エネルギーが
だれかれにも
降り注いでいる
むろん私にも
目には見えねど
これぞ
宇宙の善意
弥陀の慈悲

春色無高下しゅんしきなくこうげなし

最近、あまりいい話題がなくて、何か元氣の出るお話ができて、この原稿を書き始めていまして、その矢先、東北地方太平洋沖でマグニチュード9.0というとてもない巨大地震が発生してしまいました。刻々伝えられる被害状況は、これが現実なのか、にわかには信じがたいような思いもよらぬ悲惨な事態ばかりです。

地震そのものの被害、津波の被害、石油コンビナートをはじめ火災による被害、さらには原発による放射能汚染被害、あらゆる被害が複合的に、しかも広範囲で起こっており、まさに未曾有の震災であります。このような状況を目の当たりにすると、これまでこつこつ築き上げてきた人間の営みが、自然の猛威の前には、いかに

はかなくもろいものであるかというところをつくづく思い知らされます。おそらく、完全復興できるまでには十数年、場合によっては数十年かかるのではないでしょう。罹災された方々の悲しみと、これからのご苦労を思うと、何ともやりきれません。

わたしども、不幸のどん底にあるとき、「神も仏もあるものか」と、愚痴をいいたくなります。もちろん、そのような恨み言をいうことで解決すれば、問題はないわけですが、そうはいきません。

「春色無高下、花枝自短長」という禅語があります。東北地方の北国にも、季節的にはこれから春がやってきました。ただ、被災地にあつては、春どころではないはず。自分たちには、春は当分こないとの思いが強いであります。

う。

しかし、春の日ざしは野にも山にも、町にも村にも、今回のような悲惨な状況の被災地にも、一様に降りそそぎ、少しも高下、多い少ないはありません。まったく一様にして平等です。

一方、春咲く花は、野辺に咲く小さなスミレもあれば、梅もあり、桜あり、桃もあります。同じ桜といつても長い枝もあり、短い枝もあります。早咲きもあれば遅咲きもあります。それぞれがそれぞれに咲き、違いは歴然としてあります。被災地にも、今でこそ散々たる状況ではありますが、いづれ、これまでにはなかった、清らかで美しい情愛の花が必ずや咲くはず。困難からの打破には、この「春色高下無く、花枝自ずから短長」の言葉に、解く鍵があるよう

に思うのです。

いきなり話は飛びますが、我々が今いる地球、太陽系、銀河系さらにすべてを包み込む宇宙というものの存在は、紛れもない事実として受け取ってもよいでしょう。その成り立ちについて、現代の科学においては、ビッグバン宇宙論が、ほぼ定説のようになっていくようです。難しいことは分かりませんが、今から一三七億年前分子、原子を形成する以前の素粒子と呼ばれるものの爆発によって、水素、ヘリウムといった軽い元素から次々にいろいろな分子が生成され、さらに多種多様な物質、そして銀河宇宙が形成され、その一過程で、我々人類も生まれ、今もつてなお、どんどん膨張し続けているというものです。

このビッグバンの理論は、それ

以前のことについては説明されませんが、今現在、計り知れない何らかの法則によつて、ある方向性をもって動き、進み続けているということです。それは、宇宙が包括している善意であると解釈してもよいのではないのでしょうか。

しかし、今回のような日本列島全域、あるいは世界をも震撼させるような大惨事が、どこが善意かと思うかもしれません。誤解を恐れつつあえて申し上げれば、方向性を見失い、閉塞状態であった日本が、復興に向けて一丸となれるのです。もちろん、被災者の方々の多くの犠牲あつてのことではありませんが、その分、我々生き残った者は感謝を忘れず、それぞれがその善意に沿えるような生き方を見つけていかなければならないということなのです。

宇宙の善意にかなう生き方がなされるところには、よい縁がいただけ、必ずよい結果が生まれるのです。無量寿経に説かれるところの弥陀の慈悲、すなわち、すべての衆生を救わんがための本願こそ、この宇宙の善意と受け止めることが、現代に生きる我々念仏をいただく者のあり方ではないかと思うのです。

再び表題に戻ります。「春色高下無し」とはいいつつ、高下の時間差というものはあります。それは、人知の及ばぬところにあるものなのかもしれません。その差を是正すべく、お互い相手のことを思いやりながら、自分にできることを一つずつ積み上げていくことが大切です。日本有史以来の危機です。皆で一様に、早く春色を味わえるよう精進しましょう。

◎擬宝珠ぎぼうし

モスクワのクレムリン内にある、ウズペンスキー寺院は、ロシア正教の大本山であるが、さらに有名なのは塔の先端かねぎ坊主形になっていることだ。実はこの教会のねぎ坊主と、日本の木製の橋の柱についている「擬宝珠」とは、起源が同じなのである。

梵語ぼんごギボウシユが転じて、擬宝珠の語が生まれるのだが、この宝珠は、欲しい物を意のままに出せる宝の玉とされ「如意宝珠にょいぼうしゆ」とも呼ばれる。さらにはこの宝珠には薬効もあり、この珠にふれると病人はたちまち治るとされた。

この宝珠、実はねぎの花の形に似た珠からきたという説もある。つまり擬宝珠は、「葱宝珠ねぎぼうし」でもあるのだ。このあたり、ねぎ坊主と音の響きが

似ていてもしろい。

この宝珠は、やがてインドから西へ伝わり、ロシアの教会の屋上に輝き、東へ仏教とともに伝わって、寺院建築、御輿屋根みこし、各寺院の須弥壇じゆみだん、さらには橋にまで用いられるようになったのである。洋の東西を問わず、厄除け、あるいは幸運を招く点では共通。この擬宝珠、ぎぼ、うしゆ、ぎぼつし、ぎぼしとも発音する。『仏教のことば』早わかり事典)

雑記



▼義捐金(第1次4月8日×切)

この度の東北地方太平洋沖地震に対し、善意の輪が広がっています。私どもの宗派でも義捐金を集め、被災地にお届けしようということになりました。当山で

も、出来る限りお手伝いさせていただきます。ただこうと、募金箱を設けました。ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

▼ホームページ

平成十年七月九日に「ナモの寺」として、インターネット上に当山のホームページを開設させていただきましたが、かなり年数がたち、デザイン様式や使い勝手が少々古くさくなってきましたので、模様替えをさせていただきました。

ところが、なかなかこれが厄介でありまして、現在も悪戦苦闘中です。ですから、未だ全面改装とはいかず、工事中のところもありますが、お暇なときにでも覗いていただいて、ご意見等お聞かせいただければありがたいです。

◆春の雪震災の地に黙祷す 沐魚